

概要、特記事項、反省事項等

7月22日(金) 岩茸山ユリ園観光・大出公園散策

八方ゴンドラ駅付近に 13:30 頃に到着、当初の計画は八方尾根自然路のハイキングの予定だったが黒菱平への林道が崩壊して通行できないことが事前の調査で判明、ゴンドラを利用する方法に変更、しかし現地に着いてみると山はガスが濃く眺望が全く無いので急遽岩茸山の百合園観光に変更する。平日なので広大な駐車場は数台の車のみ、それでも岩茸山(1289.6m)へのゴンドラは運行していた。往復料金 1400 円を払って山頂へ。山頂の百合はまだ三分咲きだった。白馬三山の眺めの素晴らしさは容易に想像できたがあいにくの曇り空で全貌は望めなかった。それでも白馬の大雪渓など、後立山の山並みが部分的に見える。明日の天候の回復を願い 2 時間ほど山頂を散策し、民宿「かくひら館」に入る。民宿から歩いて数分の大出の吊り橋見学を奨められて行ってみた。橋の下流から後立山連峰を背景にした眺めが日本の原風景を想わせる額縁絵の構図ということで晴れた日はカメラの撮影ポイントで賑わうそうだ。残念ながら山は雲の中だった。

7月23日(土) 大雪渓から白馬岳

猿倉の駐車場が混むので予定よりも早めに行動したが、先発の B2 班、H さんから駐車場がまもなく満車になるという連絡が入り、急遽マイカーを止め宿の車で送ってもらう。5:40am、上の駐車場は満車だったが下の駐車場はまだ十分に余裕があった。登山届けを出して出発、麓はガスっていたがこの地点では霧も所々晴れて周囲の山肌が見え天候回復の兆しがみえた。登山道の周りは大型の植物群がみずみずしく葉を広げて山の息吹を強く感じられた。白馬尻小屋の前のキヌガサソウの花は変わらず高貴な姿で咲いていた。大雪渓の取り付きでは大型バスで来ていた団体が溢れんばかりの賑わいでアイゼンの装着をしていた。この団体としばらく前後しながら大雪渓を登る。大雪渓の取り付きから 1:45 ほど登り監視員に秋道に誘導されアイゼンを脱ぐ。雪解け水が流れる濡れたガレ場の登山道は浮き石と落石に緊張を強いられる。葱平岩室辺りで漸くほっとする思いだった。小雪渓の取り付き手前で B2 班に追いつき昼食を摂る。周りは今が盛りの高山植物のお花畑である。再びアイゼンを装着して小雪渓を横断、アイゼンはずしてまもなくすると村営の小屋が見えてくるがこの先が嫌と言うほど長い道程に感じられた。CL は花を愛でる余裕もなく重い足取りで村営小屋に到着。テラスでビールを飲んでいる他のグループを見てもう少しの頑張りと気を奮い立たせ山荘まで何とか辿りついた次第である。天候が変わらないうちにと部屋に荷を置いてまもなく山頂を目指す。用意した横断幕を広げ B1、B2 全員で記念の集合写真を撮る。周りから好奇の視線が集まり、いくつかの質問をうけた。その後山荘のレストランで生ビールで喉を潤し、蘇生したのは言うまでもない。2:50pm A、C 班が到着、たすきを受取り再び横断幕を広げて山荘の前で全員集合の写真を撮る。

7月24日(日) 杓子岳～鑓ヶ岳～鑓温泉小屋

霧が立ちこめているが青空も見えて良い登山日和になりそうだ。B1、B2 班は一緒に行動、6:00am に小屋を出発する。B2 の H さんが風邪気味との事で予定を変更して鑓温泉小屋には泊まらず下山するとの申し出があった。丸山に登ると、後立山の山並みが重なるように見え、劔岳、立山連峰の素晴らしいパノラマビューが広がる。十分に堪能して杓子岳の山頂を目指す。かなりの急登であるが全員が山頂を踏む。山頂からの景色の素晴らしさは言うまでもない。振り返ると白馬岳の鋭く切れ落ちた特徴のある山容と小蓮華岳が、そして旭岳が少しかすんだ中に威容を誇示して聳えている。大雪渓を見下ろすと早くも登山者の姿も見える。切り立った山頂の縁を注意しながら鑓ヶ岳を目指す。ガレ場の中にコマクサを見つけて癒される。岩峰の登山道を息を切らしながら登り詰めると新しい展望が開ける。稜線の緩やかな下りの登山道が続き天狗山荘の黒い建物が見え、その先に天狗の頭、唐松岳や五竜岳がだいぶ近くに見えてくる。360 度の良い景色だ！鞍部に下りるとそこが鑓温泉に下る分岐点である。かなりの急坂を足下を確かめながら下る。コマクサ、チングルマ、ハクサンコザクラ、など花も多いが気の抜けない道だ。小屋に辿りつく頃にだいぶガスが湧いて視界が悪くなってきたが無事に到着。B2 班とはここで別れる。早速、天空の露天風呂に浸る。豊富な透明の湯が湯船から溢れてテント場の側を流れ落ちていく。先に鑓沢の雪渓が見えて、なんとも贅沢な気分である。女性はこの時間帯は残念ながら内風呂で済ます事になる。湯上がりは冷えたビールで乾杯。

7月25日(月) 鑓温泉から猿倉へ下る

今日も良い天気だ。昨日はガスって見えなかった小屋からの景色がよく見える。見上げる稜線上の烏帽子岩と青い空が印象的だ。今日は楽しみながらゆっくり下ろう、みんなも同じ気持ちだ。雪渓を二度渡るとはチンクルマー一色の花畑が広がる。見事なもので一見の価値有りである。ハクサンコザクラ、ハクサンイチゲ、キン

ポウゲ、ニッコウキスゲ、など十分に目を楽しませてくれる。このコースを選んで良かったと心から思った。

11:00am 丁度に猿倉山荘に到着、予約したタクシーに間を置かずに乗れ込んで車を預けた民宿に直行する。マイカーに乗り換えてあらかじめ調べておいた食事の出来る日帰り温泉、「十郎の湯」に着いたとたん、激しいにわか雨が降るが濡れずに済んで本当に幸運な事だった。汗を流し蕎麦を食べ、ゆっくり横になって休憩を取り、帰路についた。思い出に残る楽しい三泊四日の山旅はこうして終わった。行動を共にしたメンバー、及びB 2のメンバーの御協力に御礼を申し上げます。